

副業・兼業人材の採用促進セミナー

外部専門人材を必要な時だけ戦略的に活用する方法を学ぶセミナー・トークセッションを開催。



プロ人材を活用し経営課題を解決

秋田県プロフェッショナル人材戦略拠点では、国が提唱する副業・兼業の推進を受け、県内企業での外部人材の戦略的な活用推進を目指し、7月28日、秋田ビューホテルで「副業・兼業人材の採用促進セミナー」を開催した。

第一部では、職業紹介サービス業の株式会社社会人材コミュニケーションズ代表取締役社長であり、個人向けキャリア

マネジメント塾「知名塾」を主宰する宮島忠文氏が「副業・兼業でのプロ人材活用方法と経営革新」というテーマで講演。第二部では、プロフェッショナル人材戦略拠点の吉崎マネージャーがコーディネーターを務め、宮島氏と、外部専門人材を招いたプロジェクトを進行中の宮腰精機株式会社国見工場工場長の藤原鈴司氏をパネラーとしたトークセッションを行った。

セミナーレポ 外部人材でイノベーションを!

第1部の宮島氏の講演では、「副業・兼業とは通常の人材採用ではない。獲得するのは、単純な労働力ではなく知識・ノウハウの知的資本であり、一定以上の経験がある人材が対象」と前置きし、専門的かつ高度な知見を持つ外部人材の戦略的な活用により、「“変革をもたらす”場で新しい価値を生み出すことができる」ことが最大のメリットと力説。状況別・経営課題別に具体的な外部人材活用事例を挙げながら、「専門人材ゆえに、登用する際は業務範囲を明確化することが重要」と続け、「普段気になっている点、苦労している点こそが経営課

題。“価値を生む場面”に焦点をあてながら外部人材を活用してほしい」とまとめた。

第2部のトークセッションでは、実際に外部のプロフェッショナル人材を登用し、世界初となる「AI(人工知能)を搭載したアナログ印刷機」の開発に取り組んでいる藤原鈴司氏が登壇。「あなたの会社の夢は何ですか?」と参加者に問いかけ、兼業プロ人材の登用後、偶然にも求めている人材が次々に見つかったという実体験から、「プロフェッショナル人材を登用した瞬間から、流れが変わった。会社の未来を語り、夢をオープンにすること。一步を踏み出すことで、企業はさらに成長し、若者雇用にも繋がっていく」と語った。質疑応答では、同社でプロ人材として活躍する葛島俊和さんが登壇し、藤原工場長とともに、勤務日数や給与などの労働条件や、契約体系などの具体的な質問に回答しながら、企業とプロ人材それぞれの立場からのメリットを語った。



参加者の声

当社は東光鉄工株式会社を中核企業として、ICT事業、保険代理業など10事業以上の事業展開を行っています。求められるスキルが幅広く、時代の変化に合わせて新規事業にも積極的に取り組む社風のため、社内にはない知見をどう取り込み活用していくかは人材登用の課題と

なっていました。秋田県内だと人材にも限りがあるため、首都圏等で豊かな経験を持った方を副業・兼業を前提として登用する方法については興味深く聞くことができました。多方面から情報収集を行い、今後も新しい事業を秋田から発信していきたいと思っております。



株式会社東光ホールディングス
常務取締役 **渡部 聡**さん